

第2回令和4年度使用藤沢市教科用図書採択審議委員会会議録

令和3年7月5日（月）9時～

委員長 皆様、おはようございます。本日はお忙しい中、ご出席をいただきまして、ありがとうございます。

なお、この会議は公開であるとともに、審議の内容につきましては、会議録作成の都合上、録音をさせていただきます。

それでは、ただいまより第2回令和4年度使用藤沢市教科用図書採択審議委員会を開催いたします。

本日の次第をご覧ください。今回、審議いただく内容は、議案第1号「令和4年度使用特別支援学校及び小学校若しくは中学校の特別支援学級用教科用図書について」、議案第2号「令和4年度使用藤沢市教科用図書に関する審議結果の答申について」の2点でございます。

まず初めに、藤沢市審議会等の会議の公開に関する要綱に基づき、会議録署名委員を指名します。

委員長の私のほかに、今回も加藤委員にお願いしたいと思いますが、よろしいでしょうか。

加藤委員 はい、承知いたしました。

委員長 ありがとうございます。では、加藤委員、よろしくお願いたします。

それでは、審議の前に、資料等について事務局に説明を求めます。

事務局 それでは、最初に、第1回審議委員会から本日までの特別支援教育に関する教科用図書の調査研究の流れについて、説明いたします。

今回、ご審議いただく教科用図書は、学校教育法附則第9条に規定された教科用図書です。特別支援教育に関する教科用図書については、児童生徒の実態に合った一般図書を充ててもよいとされているものでございます。5月7日から13日まで県立総合教育センターにて展示会が開催され、白浜養護学校と市内小中学校特別支援学級の教員が展示されている図書を見ながら、在籍する児童生徒の実態や、次年度入学する児童生徒を想定して調査研究を行い、その結果について、該当学校から教科用図書調査書が提出されております。

それでは、資料の説明をいたします。まず、サイドテーブルの資料について説明いたします。そちらには、令和4年度使用特別支援学校及び特別支援学級用教科用図書調査書と特別支援教育関係教科用図書見本の一部を展示してあります。令和4年度使用特別支援学校及び特別支援学級用教科用図書調査書は、特別支援学級設置学校長及び特別支援学校長が自校の教師に調査研究させたものを簿冊としたものです。

次に、お手元にもあります「令和4年度使用特別支援学校及び小学校若しくは中学校の特別支援学級用教科用図書調査書まとめ」です。これは、当該学校から提出された令和4年度使用特別支援学校及び特別支援学級用教科用図書調査書を基に事務局でまとめたものです。

1ページをご覧ください。この一覧表は附則第9条による図書を4つに分けて表記してあります。

一覧表の一番上のところをご覧ください。まず1つ目は、「新」の文字を記載したもので、これは今回調査研究をした結果、新たに教科用図書としてふさわしいとして提出された新規図書でございます。2つ目は、□の記号を記載したもので、これは昨年度採択された図書で、本年度の調査研究の結果、複数の種目において教科用図書としてふさわしいとされた図書でございます。3つ目は、●の記号を記載したもので、これは昨年度採択

された図書で、令和4年度に発行者による供給が困難となった図書でございます。最後4つ目は、無印のもので、これは昨年度採択され、本年度も教科用図書としてふさわしいと調査された図書でございます。

なお、資料1として、21ページから27ページに新規図書と複数種目で希望のあった図書等を一覧表にしてお示ししてございます。この資料には、児童生徒一人一人の特性や発達段階を踏まえた上で、各学校が一人一人に適した教科用図書として選定した理由を記載してございます。

続きまして、18ページをご覧ください。一覧表の最後、No.10、道徳の欄の下段でございますが、ただいま説明をいたしました一般図書の他に、採択可能な教科用図書として、点字教科書・拡大教科書並びに令和4年度使用小学校用教科用図書、令和4年度使用中学校用教科用図書、特別支援学校小・中学部用文部科学省著作教科書がありますことを記載してございます。特別支援学校小・中学部用文部科学省著作教科書につきましては、資料2として、29ページ、30ページにお示ししてございます。これは、第1回の審議委員会の資料として「特別支援学校用（小・中学部）教科書目録（令和4年度使用）」をお渡しいたしました但、この中で知的障がい者用として挙げられております☆印本と呼ばれている図書でございます。

次に、31ページに、資料3として、一般図書を採択希望する場合の留意事項につきまして記載しております。

なお、これらの資料のうち、各学校から報告されている令和4年度使用特別支援学校及び特別支援学級用教科用図書調査書は、個人情報等の配慮の必要があることから、非公開といたします。

以上でございます。

委員長

ありがとうございました。ただいま資料について説明があり

ました。事務局の説明にもありましたとおり、令和4年度使用特別支援学校及び特別支援学級用教科用図書調査書につきましては、個人情報等の配慮の必要のあることから、非公開としたいと思いますが、いかがでしょうか。

各委員 結構です。

委員長 ありがとうございます。
それ以外に資料等について何かご質問はございますか。

各委員 なし。

委員長 では、質問がないようですので、これから議事に入ります。
議案第1号「令和4年度使用特別支援学校及び小学校若しくは中学校の特別支援学級用教科用図書について」審議してまいります。
新規の図書については、本審議委員会が初めて審議する場となっておりますので、慎重な審議をお願いしたいと考えます。
どうぞよろしくお願ひいたします。
それでは、これから審議してまいりたいと思いますが、審議について何かご意見はございますか。小木曾委員。

小木曾委員 この会において、毎年のことですけれども、各学校からは、子どもたちの障がいの特性と発達段階に応じた教科用図書として使用できる一般図書がたくさん出されていると思います。私も以前、特別支援学級の担任をしていたときにも同様なのですが、一般図書を選ばせていただいて、多くの子どもたちが楽しく活用してまいりました。
このように、特別支援学校や特別支援学級に在籍する子どもたちにとってふさわしい教科用図書として、附則第9条によっ

て、教科用図書として使用できる一般図書を幅広く用意することが大切だと考えております。

委員長 ありがとうございます。他にご意見はいかがでしょうか。川崎委員。

川崎委員 私も同じ考えです。今回、各学校で調査研究をした結果、教科用図書にふさわしいものとして、新規図書や複数の種目で使いたいという一般図書が数多く出されております。本校の調査の様子を見ましても、生徒一人一人の実態を踏まえての精査をしておりましたので、昨年度までに採択された一般図書は、●の発行者による供給が困難となった図書を除いて引き続き使用することとし、今年度、新たに出された一般図書について審議するのがよいと思います。

委員長 ありがとうございます。他にはいかがでしょうか。志水委員。

志水委員 私も同じように考えます。調査書まとめに示されている複数の種目で申請のある□の印がついている図書や、今年度、新たに希望が出ている「新」の印がついている図書について審議していくのはいかがでしょうか。

委員長 他にご意見はございますでしょうか。ありがとうございました。

それでは、ただいまのご意見を受けまして、各学校から希望が出ている一般図書について教科用図書として使用できる方向で考えていくことと、これからの審議については、新規の図書と複数の種目で希望が上がっている図書について審議していくということによろしいでしょうか。

各委員 結構です。

委員長 では、そのように審議を進めてまいります。

「調査書まとめ」の印で言いますと、「新」と書かれた新規図書、そして、□の印がついている複数種目で希望がある図書についてご意見を伺いたいと思います。新規図書や複数種目で希望がある図書については、No. 1 の国語・書写からNo. 10、道徳までの種目に合計47冊入っております。

審議につきましては、学校からの調査書には、どのような特性のある児童生徒にどのような教科用図書がふさわしいかという点が挙げられていることから、子どもたちの実態や特性という視点からご意見を伺いたいと思います。

なお、審議の都合上、分野を3つに区切って審議を進めたいと思います。それではまず、No. 1 の国語・書写から、No. 3 の生活・地図・社会の教科領域で申請が上がっている15冊の図書についてご意見を伺いたいと思います。この15冊については、他の種目でも希望が上がっている図書がありますので、それも含めてご意見を伺いたいと思いますので、どうぞよろしく願いをいたします。小木曾委員、お願いいたします。

小木曾委員 それでは、私からは、国語・書写の分野で、永岡書店「知育かるた 都道府県かるた」について述べたいと思います。この本は、既に生活・地図・社会で採択されている本ですが、今回は国語・書写で申請が上がっているものです。平仮名を一文字一文字読むことは上手にできるのですが、単語や文節読みになると苦手であったり、長い文章になると飽きてしまったりする児童を見かけることがあります。このかるたの読み札は全てが七五調になっているので、まとまりとして、とてもリズムカルに読むことができるものではないかと考えております。そして、漢字にはルビも振ってあるので、自分の力で読み進めることが

できます。さらに、かるたなので、複数の児童で学習することもでき、勉強しながら遊びのルールを学んでいくということも期待ができる本だと思っております。文のまとまりを意識して読むことを目標にしている児童にとっては大変よい教材だと思います。

委員長 ありがとうございます。他にいかがでしょうか。では、志水委員、お願いいたします。

志水委員 私も、国語・書写の中の「ABCえほん」について意見を述べたいと思います。この本は見開きの1ページに、1つのアルファベットが大文字、小文字、筆記体、それを含む単語、そして、関わる絵という形で構成されています。分かりやすく、単純な文字と絵の構成です。過去に英語で採択されていますので、教科用図書にふさわしいものだと考えます。

国語科の指導においては、学習指導要領において、日常生活の中でとか、日常生活におけるなど、児童がふだんの生活の中で繰り返したり、人とのやり取りなど関わりを深めたりして、興味関心をさらに広げるために必要な国語を身につけることが大切とされています。段階的にアルファベットに関心を持ち始めた児童に対して、最初は単なる記号でしかないものに、日々の学習の中で、教師とのやり取りを繰り返しながら意味づけしていくという点で、国語の指導で扱う本としてふさわしいと思います。

委員長 ありがとうございます。では川崎委員、お願いいたします。

川崎委員 私は、5番の「めくって学べる『きかいのしくみ図鑑』」についてお話しします。この本は生活、社会で採択されています。家電や設備、乗り物など、日常様々なところで目にする機械や道具の仕組みをイラストで学ぶものです。イラストをめくると、

中の仕組みが見える仕掛けが楽しく、興味を持って学べます。気づいたことなどを正しく言葉で伝え合う学習が進みそうですので、国語での使用にも適していると考えます。

もう1冊、6番の「はっけんずかんのりもの改訂版」についてお話しします。この本も既に生活、社会で採択されていて、今回、国語と道徳の2種目で採択希望が出されています。いわゆる働く乗り物の仕組みをイラストで学ぶものです。こちらもイラストをめくると、中の仕組みが分かる楽しい仕掛けがされています。児童がとても興味を持っている乗り物を入り口として、働くことですか、生活について言葉で伝え合う学習が盛り上がりそうです。そのため、国語や道徳での使用にも適していると思います。

委員長 ありがとうございます。他にはいかがでしょうか。では、加藤委員、お願いいたします。

加藤委員 私は、国語の1番、くもん出版の「小学ドリル国語 1年生のカタカナ」、2番「くもんの小学基礎英語 たのしく学べる英単語」、3番「言葉と文法にぐーんと強くなる 小学1年生」、そして、算数の1番にあります喜楽研の「ゆっくりていねいに学べる どの子もわかる算数プリント2-2」、次に、2番のくもん出版の「かず・けいさん5 たしざんおけいこ1集」についてお話しさせていただきます。

これらはドリル形式となっております。ドリルの特徴といたしまして、易しいところからのスモールステップになっており、少しずつゆっくりと丁寧に学んで、繰り返したり、確かめたりすることができまして、そういうことによりまして学習の定着を図るような構成になっています。1回当たりの書く量や問題数も無理なく取り組める分量になっているなどと思いますし、子どもの状況に応じて、課題の量や進み具合を調整しやすいとい

う利点もあると思います。特に「たのしく学べる英単語」につきましては、CDがついているのですが、その附属のCDに本の内容の音声収録されております。まず、音声から英語に楽しんで、それを文字に対する興味へつなげていくということができるのではないかと思います。

委員長 ありがとうございます。他にはいかがでしょうか。それでは、中岡委員、お願いいたします。

中岡委員 加藤委員から、有効性のあるドリルについてお話がありましたので、続ける形で、私は、国語の4番、文響社の「うんこドリルかん字小学2年生」と、算数の3番と4番になりますが、ともにくもん出版発行の「小学ドリル算数 1年生のすう・りょう・ずけい」、「文章題にぐーんと強くなる小学1年生」について取り上げたいと思います。

まず、「うんこドリル」であります。漢字を覚えるために繰り返し書いて覚えるという方法では、児童生徒にとってはつまらなく、集中力が途切れてしまいます。このドリルは、漢字学習に対する苦手意識を改善し、書き込むことを楽しめるよう思考が凝らされ、関心、意欲を引き出していくことに特化されています。ユーモアあふれる例文は、児童生徒に限らず、大人も楽しめるものなので、一緒に楽しく学習を進めていくことができます。また、音、訓読み、どちらも勉強できるのも利点と言えます。教科書ですと、そのとき出てくる読み方で習いますが、せっかく覚えたはずが後ほど混乱につながってしまうことがあるからです。

続きまして、「小学ドリル算数」ですけれども、見やすく分かりやすい図を使って問題が作られているので、取り組みやすいです。また、視覚を通じて思考できるよう工夫されているので、感覚的に得られるヒントを基に解答を導き出すことがで

きます。そのことは支援のしやすさにも通じます。簡単な数値と問題のパターンから始めて、少しずつ自然にレベルアップしていくので、無理なく効果的に学習を続けられます。自分で解けることで自信や学びへのモチベーションアップにつながり、自学自習を進めていくことや、しっかりした学習習慣を持つことができるようになります。

そして、「文章題にぐーんと強くなる小学1年生」ですが、文章題を通じて式の立て方を繰り返し練習できることに特化しています。1つの回ごとに同じ式の立て方をする問題がそろっています。これによって、単位や登場人物が変わっても混乱することなく、解いているうちに自然と式を立てる力がつく構成になっています。イラストによる考え方のヒントがあることで、支援を必要とする児童生徒にとっても文章題に取り組みやすくなっています。また、文章題が生活に根差していて、簡潔で分かりやすいですので、使い方次第で文を書く力を身につけることに活用することができます。

委員長 ありがとうございます。国語、算数それぞれの3冊についてご意見を伺いましたが、他にいかがでしょうか。それでは、秦野委員、お願いいたします。

秦野委員 国語、算数が続いています。私は、生活・地図・社会の3番、ひかりのくにの「改訂新版 体験を広げるこどものずかん 1 どうぶつえん」というものについてお話をさせていただきたいと思います。これは手に取ったときに、まず動物のイラストが分かりやすいです。イラストだけではなくて写真の配置がととてもよくて、特別支援学校や特別支援学級の子どもたちにとって、ぱっと手に取りやすい、視覚的にもすごく読みやすい本だなと思いました。それと、どうぶつえんという題名なのですが、動物園での生態とか動物の特徴だけではなくて、野生での

暮らしの様子が写真で紹介されているのです。そうすると、この動物はどこに住んでいるのかなと思ったときに、巻末に世界地図がついているのですが、この動物がどこから来たのか、この動物はどういうところに住んでいるのかが世界地図上で確認できること、地球上のどの辺りにどういう動物が生息しているのだなというように、動物園での経験とか、学んだ動物をそういう作業みたいに地図上で追うことによって、子どもの社会的なとか、地図的な知識とか学びが深まっていく構成になっているなと思って、適切というふうに私は考えました。

委員長 ありがとうございます。社会、ひかりのくに「改訂新版 体験を広げるこどものずかん1 どうぶつえん」についてご意見をいただきました。他にはいかがでしょうか。では、志水委員、お願いいたします。

志水委員 では、私も同じく生活・地図・社会で挙がっています2冊、「47都道府県を旅しよう！につぼん全国のさがしもの」と「1日10分でせかいちずをおぼえる絵本」について意見を述べたいと思います。

特別支援学級の児童生徒が学習に取りかかるきっかけというのはいろいろです。特に興味関心のあるものを題材にして、知識を増やすという指導は大変有効だと思っています。

まず、1冊目の「47都道府県を旅しよう！」については、この本を扱うことで、自分の住む神奈川県の様子から近隣の都道府県へ興味関心が広がることもあるでしょうし、全国の名産品から地域の特徴に気づいていくようなこともできます。また、絵さがし絵本とあるように、細部まで描き込んだイラストを使って、一方通行ではない双方向の学習形態を取りながら、発見するという楽しさも味わえそうです。中でも栃木県のページには、市立の小学校が修学旅行で訪問する日光東照宮が扱われて

いたり、神奈川県のパージでは藤沢市に關係する名産品を探したりというような、様々な学習活動に生かせるかと思いました。

もう1冊の「1日10分でせかいちずをおぼえる絵本」は、ちょうど日本地図から世界地図へと興味が広がったときに、ただ地図帳で地図を見て学ぶよりも、国の形を様々なものに想像して、その国を知っていくというように関わるという点で学習のきっかけにもなりそうです。世界55か国が1ページずつ扱われていまして、その国の説明や有名なものの紹介も、量があまり多過ぎず、イラストもシンプルで、学習を深めていく入り口として、地図、社会科の指導で扱うのにはふさわしい本だと思いました。

委員長 ありがとうございます。社会科2冊についてご意見をいただきました。15冊の図書につきまして、他にご意見はございますか。では、小木曾委員、お願いいたします。

小木曾委員 先ほどドリルの話が何冊か出されておりましたけれども、同じ学年の児童生徒であっても発達段階がそれぞれ違うので、それぞれの子どもに応じた教育課程を担当の先生方が編成しながら日々授業をしているのですが、国語や算数などの授業の中で、それぞれの子どもの力に応じた学習を進めていく上で、ドリルというのは非常に有効な手だてかなと思っております。子どもたちも自分でドリルを進めていくことができるということを考えると、指導者にとっても、子どもにとっても非常に有効な教科書になるだろうと思えます。

委員長 この15冊に関しまして、他にご意見はよろしいですか。

それでは次に、No.4の生活・理科から、No.7の家庭・職業家庭の教科領域で申請が上がっております13冊の図書についてご意見を伺いたいと思えます。よろしくお願いいたします。そ

れでは、中岡委員、お願いいたします。

中岡委員 私からは、No.4の理科の2、「キソとキホン わかるがたのしい理科小学3年生」についてお話ししたいと思います。こちらの図書は、ホップ・ステップ・ジャンプの3段階構成になっていて、基礎的な内容を短時間で反復練習することができるのが特徴です。そのため、自分自身で取り組んでいけるよう編集されていることによって自分で進めていくことができます。ホップでは、重要語句や用語をなぞり書きしたり、実験、観察図に色づけしたりしながら、易しく理解できるようにされています。ステップでは、視点を少し変えた問題を繰り返し取り組むことによって自然に理解が深められていくよう工夫されています。ジャンプでは、おさらい問題が2回以上出され、定着が図れるようにされています。理解が不十分なようであれば、もう一度、ステップに取り組むことでフォローできるのも利点であります。

委員長 ありがとうございます。理科の2、フォーラムの「キソとキホン わかるがたのしい理科小学3年生」についてご意見をいただいたところです。他にはいかがでしょうか。では、橋爪委員、お願いいたします。

橋爪委員 生活・理科の1番「ひとりで作って、みんなで食べよ！ はじめてのごはん」についてですが、我が子も食に対してとても関心が強く、このような本が大好きです。好きな食べ物の材料、この料理には何が入っているのかなというのが分かるような本ですし、学校では野菜を育てるような学習を取り入れていただいていると思うのですが、学校で育てた野菜がこの料理に入っているという学びにもなると思いましたし、丁寧に説明されていたので、家庭でも、お料理が好きな子は1人で作ってみ

ようとできる子もいると思いますし、うちの子にはまだ調理は難しいのですが、見ていったら、海苔をちぎって載せてもおいしいよみたいなことが書いてありまして、このくらいならうちの子でもできそうだなと思えました。こういう簡単な手伝いのヒントなども載っていて、家庭でも、学校でも使えるような教材だなと思いました。

委員長 ありがとうございます。日東書院の「ひとりで作って、みんなで食べよ！ はじめてのごはん」についてご意見をいただきました。それでは、小木曾委員、お願いいたします。

小木曾委員 実は私も同じ本を見て、この本は面白いなと思って見たのですが、小学校5年生になると、家庭科の教科書を配ると、必ず子どもたちが一番最初に見るのは調理実習のページという感じで、食に興味のある子どもが非常に多いなと感じます。今、橋爪委員がおっしゃられたように、本当に簡単な料理、ちぎって作れるサラダから火を使う料理まで絵や写真を使ってすごく分かりやすく工程が示されています。

私がこの本は面白いなと思ったのは、例えば理科の教材として、理科の学習として野菜を学級園で育てて、それを使って生活の授業でサラダを作るなんていうことが展開できるような学習の流れが期待できるかなというところで、とてもいい本だと思いました。

委員長 ありがとうございます。他にはいかがでしょうか。では、秦野委員、お願いいたします。

秦野委員 私は、この表の3番、世界文化社の「からだのふしぎ」という本についてです。今、橋爪委員や小木曾委員が食事のことを言いましたけれども、では、食べたサラダが体の中でどうなる

のかというのが分かるような本です。今、話題のアニメで「はたらく細胞!!」というのがあるのですが、あれに似た学びやすさと、すごく興味関心をそそるような内容です。この調査書のまとめにはミクロの探検隊と書いてあるのですが、私たち世代だと「ミクロ決死隊」というのが、昔、ドラマだったか映画がありました。この本は体の中に自分が小さくなって入っていくわくわく感、ドキドキ感みたいなものが、めくっていると、ここが心臓だとか、大腸に入ってきたぞみたいなものが分かるようになっていきます。

人体のこととなるとちょっとグロテスクなイラストとかが多いのですが、この本は、どんな子どもにとってもすっと入ってくる不思議な優しい、かといって、あまり簡単過ぎないで、本当に体の中の様子がよく分かるようなイラストになっています。また、時々出てくる4コマ漫画だったり、9コマ漫画だったりするのが、子どもたちと体の中を探検していて、気づかせたいことに漫画で再度気づくとか、気づいたことを漫画で確認するとか、そういう配置がすごく効果的だなと思っています。冒頭に体全体の絵があって、色分けされた、この色分けというのはとても大事だと思うのですが、今日はここのルートで探検しようみたいなものが4つのルートに分かれていて示されているので、子どもたちと学ぶときに、今日はこの赤いところを通過して体を探検しようみたいなものも、学習の見通しを持たせるのにもとてもいい本だったと思います。

委員長 ありがとうございます。理科、世界文化社「からだのふしぎ」についてご意見をいただきました。他にはいかがでしょうか。では、小木曾委員、お願いいたします。

小木曾委員 私は、2冊について述べたいと思っています。まず1冊目は、今、秦野委員からもお話がありました「からだのふしぎ」

という本に少し関連しているかなと思います。評論社から出されている「しかけ絵本の本棚 からだのなかとそと」についてです。この本の特徴は、言葉だけの説明では内容を理解することが難しいので、絵を通して体の構造や働きについて理解を深めるという仕組みになっています。さらに、仕掛け絵本になっているので、仕掛けをめくると、体の中がどのようなになっているのかが分かる仕組みになっていて、例えば心臓を扱うページでは、血液が心臓から出て、指先を通過して、また心臓までに戻ってくるという道筋が分かりやすく示されているので、見ることのできない体の中を仕掛け絵本で可視化されていて、言葉だけの説明では難しい子どもたちにとっては、学習を深めていくことができる本だなと思っています。

もう1冊は、先ほども料理のことに関して話がありましたけれども、家庭・職業家庭の分野から、東洋館から出されている「くらしに役立つ家庭」という本です。家庭という教科の学習において最も大事ななと思っていることは、学んだことをいかに日頃の生活に生かしていくかと、豊かな生活を送っていけるかということにあると思うのです。そのような視点でこの本を見てみると、食事についても、被服についても、お金の使い方にしても、将来の自立に向けて必要なことが写真やイラストを交えて構成されていると思っています。特に印象に残ったページは、家計簿をつけるという部分なのですが、就労して得たお金をどのように使っていくかというのはとても重要な部分だろうなと思っています。中学校の特別支援学級の生徒がこの時期からお金を計画的に使うことを学び始めることで将来の生活に生かしていくことができる、自立に役立つ本であると思いました。

委員長

ありがとうございます。理科と職業家庭のそれぞれ1冊ずつについてご意見をいただいております。他にはいかがですか。

では、秦野委員、お願いいたします。

秦野委員　職業家庭で、私がとても興味を持ったというか、適切だなと思った本は、1番の合同出版「絵でわかるこどものせいかつずかん2　しょくじのきほん」というものです。これは道徳で1度採択されているものですが、今回は家庭科ということで、先ほど橋爪委員からあった本にちょっと似ているかと思うのですが、子どもたちが食事をする、道徳で扱われているということは食事のマナーのところかと思うのですが、調理の方法についても載っているのです。

まず、手に取ったときの本の厚みというか、大きさがちょうどいい感じで、開いたときに、いっぱい情報がたくさん詰め込まれているというよりも、バランスよくイラストが配置されていて、とても分かりやすい。何よりもできることとできないこと、「こういうことは失敗していいんだよ、失敗したときにはこうしようね」とか、「こういうのは大人の人に手伝ってもらいましょう」のように、無理せず自分のできることを1つ1つ増やしていくような構成になっているのです。もちろん食事のマナーでも使われているのですが、さきほど調理実習の話がありました。自分で料理のお手伝いから始めて、家庭科について、調理について自分ができるようになっていくものを1つ1つ増やしていく、そういう基本を身につけていくことができる本だなと思いました。

委員長　ありがとうございました。家庭・職業家庭の合同出版「絵でわかるこどものせいかつずかん2　しょくじのきほん」という本についてのご意見をいただきました。他にはいかがでしょうか。では、中岡委員、お願いいたします。

中岡委員　それでは、私からは、工作集になりますけれども、No.4、生

活・理科の4番、くもん出版の「こうさく4 かみこうさくあそび」と、No.6、図工・美術の2番、同じくくもん出版の「こうさく3 はじめてのかみこうさく2集」について取り上げたいと思います。

まず、「こうさく4 かみこうさくあそび」ですが、1枚の紙をはさみで切って折ったり、貼ったりすることで完成させる工作集です。作った後に動かして遊ぶことができるので、完成を楽しみに意欲、関心を持って取り組むことができます。題材が動物や乗り物の特徴や動きを生かしたものから、節分の鬼のお面や母の日カード等、生活のイベントに関連したものも取り入れられているので、学習に関連づけて活用できるのも利点だと思います。また、完成図を頭に描いて、平面に描かれたものを立体的に組み立てる経験を通じて、構成力、空間知覚などの能力も養うことができると思いました。

同じシリーズの工作集であります「こうさく3 はじめてのかみこうさく2集」になりますが、同様に1枚の紙をはさみで切って、折ったり貼ったりすることで、楽しさを味わいながら手先の運動能力を高めることができます。年齢、性別にかかわらず、興味を持てる独自のかわいらしいキャラクターが使われているので、それぞれの工作に取り組んで、完成させて、楽しみたいと思う意欲が出ます。はさみを使うことが苦手であっても、状況に応じて部分的に切ってあげるなどの支援を施すことで、誰でも取り組むことができるよう対応することができると思いました。

委員長

ありがとうございます。生活・理科と図工・美術、それぞれくもん出版さんの「こうさく4 かみこうさくあそび」、そして「こうさく3 はじめてのかみこうさく2集」ということで、それぞれご意見をいただいたところです。では、加藤委員、お願いいたします。

加藤委員　　私は、図工・美術の1番、「学研の幼児ワーク 4～6歳こうさく」について述べさせていただきます。こちらの本も、複雑な線をはさみで切ったり、折ったり、貼ったりして立体を組み立てたり、仕掛けを作って遊んだりするというふうになっております。子どもの興味を引きそうな楽しい絵がたくさん描かれていますので、意欲的に取り組むことができると思いますし、1ページにつき1作品できるので、この1冊が終了する頃にはかなりの経験が積めることになるなと思います。学習指導要領の図画工作科の内容には、創造的な活動を楽しむ過程を通して技能を育成することが重要であるというふうにされている観点からも、この本を図工・美術で使用することは適当かなと考えます。

委員長　　工作ということで、「学研の幼児ワーク 4～6歳こうさく」という本についてのご意見をいただきましたが、他にはいかがでしょうか。では、中岡委員、お願いいたします。

中岡委員　　ここまで工作の図書が続いていますので、私からは、美術に関する分野で、3番の講談社発行の「1日10分でえがじょうずにかけるほん 6さい～小学校低学年対象」を取り上げたいと思います。絵を描く際に、物の形を単純な丸、三角、四角で捉えて、まず絵を書くコツを身につけ、絵を描けることの楽しみが得られることに特化された本になります。絵を描くには、まず物の形を捉える力が必須であり、何か単純な形のものと結びつけたり、組み合わせたりすることによって簡単に絵が描けるようになります。そのことによって創造力も高められていくということにつながっていきます。各題材について自由に書けるページが見開きで右側のほうに用意されています。身につけた感覚を基に1つの作品を完成させ、絵を描くことの楽しさを

味わうことができます。題材も児童生徒が描きたいものが厳選されていますので、描きたいものが描けるように構成されています。そのことによって関心、意欲といったものが継続されるよう工夫されております。

委員長 ありがとうございます。図工・美術、美術のほうで講談社の「1日10分でえがじょうずにかけるほん 6さい～小学校低学年対象」ということをご意見をいただいております。他にはいかがでしょうか。では、小木曾委員、お願いいたします。

小木曾委員 私も今、中岡委員がお話しされた図工・美術分野から、三オブックスから出されている「世界でいちばん素敵な色の教室」についてお話をしたいと思います。今、中岡委員から、絵を描くことにすごく興味を持って取り組んでいける本だということでお話がありましたけれども、今度は実際に色を塗るところがやっぱり大事になってくると思うのです。例えば、ポストも、唇も、チューリップも同じ赤で塗ってしまいがちになるところもあると思うのですが、この本は実は中学校の特別支援学級から希望が出されているので、中学生となると発達段階によって、色について興味関心が非常に高まってくる子どもも多いかと思っています。そして、実際のものと同じ色を塗ろうという意識が出てくるのではないかなと。この本は、赤だったら、同じ赤系統の色9色を身近なものの写真を通して紹介している感じですが、図版がとても鮮やかで、美術の時間に色を塗るときには、こんな色で塗りたいなというふうに意欲的に取り組んでいくことができる本ではないかと思っています。

委員長 ありがとうございます。図工・美術で、三オブックス、「世界でいちばん素敵な色の教室」ということをご紹介いただいております。では、加藤委員、お願いいたします。

加藤委員　　私は、音楽・器楽の「おととあそぼうシリーズ7 ドン！ドコ！ドン！たいこ」と、「うたおう♪はなそう！おうた&ことばタブレット 音でる♪知育絵本」についてお話をさせていただきたいと思います。

この2冊は立体的なつくりになっていまして、ボタンを押すと非常にリズムのよい音楽が流れてきます。「ドン！ドコ！ドン！たいこ」については、本に太鼓がついておりまして、流れてくる音楽に合わせてたたくようになっていて、リズムを体で感じて表現するという活動につなげることができると思います。

また、「おうた&ことばタブレット」につきましては、選べる曲数が30曲ととても多くて、また、小学校低学年の子どもなら知っているような曲ばかり入っております。自分で気に入った曲を選んで流れてくる音楽に合わせて歌ったり、曲のリズムに合わせて手拍子をしたり、タブレットにある音や言葉を曲に合わせて選んで入れるなどして、子どもの主体的な活動につなげることができるのではないかと思います。

委員長　　ありがとうございます。他にはいかがでしょうか。13冊のところでは、ご意見はよろしいですか。

それでは、最後になりますが、No.9、英語と、No.10の道徳の教科領域で申請が上がっている19冊の図書についてご意見を伺いたいと思います。先ほどの教科領域で申請されている図書も含まれておりますが、加えてご意見等がございましたら、よろしく願いをいたします。それでは、いかがでしょうか。では、秦野委員、お願いいたします。

秦野委員　　私は、英語の1番、小学校から希望が出ている「ドラえもんはじめての英語図鑑」、それから、中学校から出ている4番、

「英和じてん絵本」についてお話ししたいと思います。

まず、「ドラえもんはじめての英語図鑑」ですけれども、英語の図鑑という考え方というか、コンセプトが面白いなと私は思いました。めくると、単語とか、例文、センテンスが、ドラえもんの仲間たちが楽しそうに話したり、紹介したりしているのです。絵がふんだんに使われていて、興味を持ちながら英語学習ができるかと思いました。CDが2枚ついていて、ネイティブな発音も聞きながら学習を進められるということではとてもいいなと思っています。さっきも言いましたが、私は本を手を取ったときの感覚というのを大事にしているのですが、手を取ったときの感覚は、もう少し薄くてもいいかと思うのですが、中に入っている情報量が非常に多い。多過ぎるかなと思いつつ、また、逆に支援級の子どもたちというのは、そこから何かを探すとか、興味のあるものにぱっとスポットを当てるというのも一つの特徴があると思いますので、情報量的にもこれぐらいあってもいいかなと思って、手に取って見ていました。ドラえもんがとてもなじみのあるキャラクターなので、子どもたちはぐいぐい学びのほうに引き込まれていくのかなと思い、読みました。

2冊目の「英和じてん絵本」は、辞典なのですが、さきほどのコンセプトと似ていて、絵本です。私たちがよく学習で使っていた辞典というのは、アルファベット順に英単語が並んでいる辞典なのですが、これもアルファベット順に英単語が並んでいます。ただ、イラストがずつついていて、例えばリンゴだったらその絵が描いてあるわけではなくて、とても大事な例文が1個だけついていて、その例文に即した絵がついています。ですから、単語を学びながら、精選された1個の例文と、その例文に関連したイラストがついているので、じてん絵本といいながら、さきほどのように会話とかセンテンスといったことを、辞典みたいに引きながら学ぶというのにもなかなかいいかな

と。あと、中学生ということで、ちょうど片手で持てる。さきほどは厚みが気になりましたが、この本に関しては、生徒にとって適当な厚みと重さというのが辞典らしくて、とてもいい本だなと思いました。

委員長 ありがとうございます。英語で、小学館、戸田デザインのそれぞれの本をご紹介いただきました。他にはいかがでしょうか。では、川崎委員、お願いいたします。

川崎委員 ただいま秦野委員から、英語のドラえもんの図鑑の話がありましたけれども、私は、2番目の学研「新レインボーはじめての英語図鑑」のお話をいたします。先ほどの1番ととても似ている構成になっておりますけれども、オールカラーの非常に楽しいイラストを豊富に使っていきまして、それを基にして、実際に英語を使う場面を非常にイメージしやすい構成の中で楽しく学べるのではないかと思います。活用の場面が非常に分かりやすいということで、学習が定着しやすいかと思います。こちらにもCDが添付されていますので、ネイティブの発音を聞けるといこともありますし、英語の学習にはとてもふさわしいのではないかと感じました。

委員長 英語で、学研の「新レインボーはじめての英語図鑑」ということでご意見をいただきました。他にはいかがでしょうか。では、志水委員、お願いいたします。

志水委員 では、私も続けてCDつきのものでお話ししたいと思います。3番の「CDつき絵で学ぶ小学生の英語レッスン ABCから英会話まで」です。この本の著者の方は英語教育のアドバイザーとしても活躍されていらっしゃるしまして、英語嫌いをつくりたくないとか、日常生活で使う単語や会話を楽しく覚えようという

つくり大変好感を持ちました。単語のページは、アルファベット順とかそういうことではなくて、色というグループから始まって、数字、くだものと続き、英会話のページは挨拶から始まっていますので、児童生徒には、身近ですぐに使ってみようと思えそうです。また、それぞれのページには、指導者向けの説明が書かれていることと、先ほどから、CDがとても有効だということでお話がありますがけれども、ネイティブスピーカーの発音を附属のCDで聞くことができますので、特別支援学級の児童生徒にとって、英語指導で扱うにはとてもよいかなと思いました。

委員長 ありがとうございます。同じく英語で、成美堂出版さんの本についてご紹介をいただいております。他にはいかがでしょうか。では、中岡委員からお願いいたします。

中岡委員 ここまで3人の委員の方から英語の図書に関して紹介がありましたが、私からは、最も基本となるアルファベットに関する図書について取り上げたいと思います。英語の5番、くもん出版の「えいご3 アルファベットおけいこ」になります。この図書は、アルファベットの順と読み書きに特化したドリルになります。アルファベットの順番は、辞書を使えるようになるためにどうしても必要なスキルになります。ですが、使い慣れるようになるまでは大変根気が必要になります。このドリルは、点を線でつないで図形を完成させ、楽しく自然と身につけることができます。少しずつ数が増やされ、何度も声を出して取り組めるよう構成されていますので、無理なく学習を進めていくことができます。また、真っ直ぐ線を引くという練習をすることによって、基本運筆力がつくことにもつながり、アルファベットをきれいに書けるようにもなると思います。

委員長 ありがとうございます。英語で、くもん出版の「えいご3
アルファベットおけいこ」について御意見をいただきました。
では、小木曾委員。

小木曾委員 今、英語の図書の話がずっと続いていたのですけれども、
通常の学級において、5、6年生は英語が教科化になってい
るのでけれども、特別支援学級においても通常の学級に準ずる
教育課程がなされているので、特別支援学級においても英語の
授業というのがきちんと位置づけられています。

 その中で、今お話を聞いていたら、CDがついている、とて
も楽しい絵がついているとか、例えば読み書きの練習のドリル
的なものもあるというところを考えると、特別支援学級等のお
子さんにとって、この英語の教科書というのはとても有効に使
えるのではないかというふうに今聞いていて思いました。

委員長 ありがとうございます。続いて、いかがでしょうか。では、
志水委員、お願いいたします。

志水委員 それでは、道徳で幾つかお話をしたいと思います。道徳は、
長く教科外の活動として行われてきていましたけれども、小学
校で平成30年度、中学校で平成31年度に特別の教科となっ
たことから、今回も多くの図書が教科用図書として申請されて
いると思います。特別支援学級や特別支援学校でも、各教科や
自立活動と密接な関係を図って、道徳的な判断力とか心情、実
践力、態度を育てる指導をすることが求められておりますので、
まず、各教科との関連という点で、2冊について述べたいと思
います。

 まず1冊は、「ことばえほん」です。言葉というのは、ほか
の人との関わりには大変大切なツールだと思っています。この
本では、その言葉や使い方をふだんの日常生活の具体的な場面

の動作を表した絵と単語で幅広くたくさん紹介していますので、過去には国語科で採択もされている本です。1つの場面について、両方の立場に立った言葉を紹介しています。コミュニケーションについて扱う際には、とても使えるなと思いました。例えば、おきるとおこすとか、いってらっしゃい、いってきます、どうぞ、ありがとうという感じです。道徳の内容にある自立した一人の人間として他者とともによりよく生きるための基盤となる道徳性を養うという視点で、道徳でも使用できる図書だと思いました。

もう1冊は、「スイミー」についてお話ししたいと思います。小学校で使用する国語の教科用図書にも掲載されていて、過去には国語で採択もされています。絵本としても、物語の世界を楽しむことのできるすばらしい本です。それだけに、読者、読む者にとっては様々なメッセージをこの本から受け取ることができます。児童生徒の発達の段階に応じて、仲間との協力とか友情、誰かの役に立つということ、主人公の気持ちに共感して、自分自身の問題と捉え、向き合っていて考えていくきっかけとして活用できるという点で、道徳の教科書としてもよいものであると考えました。

委員長 道徳のところ、グランままの「ことばえほん」、そして、好学社の「レオ・レオニの絵本 スイミー」の2冊についてご意見をいただきました。他にはいかがでしょうか。では、橋爪委員、お願いいたします。

橋爪委員 私も道徳の分野から、14番の「しごとば」についてお話しさせていただきます。この本は、いろいろな職業のイラストが細かくリアルに再現されていて、とてもイメージが沸く本だと思いました。歯医者さんのページがあったのですが、うちの子は歯医者さんの小さな道具を見るのがとても好きで、そう

いう小さな道具、部品のようなものもすごく細やかに描かれていて、うちの子がすごく喜びそうな本だなと思いながら見ていたのですが、行ったことのないところや見たことのないものでも、こんなところなのだとか、こんなお仕事があるのだなどイメージが沸くような本で、とても勉強になるなと思いました。

委員長 ありがとうございます。道德の「しごとば」ということでご意見を。では、秦野委員、お願いいたします。

秦野委員 今、橋爪委員からあった「しごとば」です。私もぱっと見たときに面白い本だなと思いました。橋爪委員は、イラストが細かく書いてあってと。私はこのイラストの何とも言えない、上手なイラストというのではないのですが、ほんわかとした温かみのある、ちょっとデッサンが個性的なのかなというような。イラストの中で子どもたちはすごくいろんなものを探します。例えば、仕事場の中に先代のお父さんの写真が飾ってある場面があるのですが、跡継ぎになって、今、一生懸命仕事をしているのだなみたいな、そんなところまで書き込んであるのです。見開きの仕事場の絵の後に、その職業の紹介、それから、今、橋爪委員からもありましたけれども、使う道具の紹介とか、いろんなことがイラストで書かれていて、あっ、こんな仕事もあるのだとか、当然知っている仕事でも、こういう道具を使ってお仕事されているのだなというのが本当によく分かる、興味関心が沸くような構成になっています。

子どもたちが将来的に自分がどんな仕事に就こうかなとか、自分が好きな仕事というのはこのような仕事場なのだなのを通して、今までも生活や社会で扱われているものなのですが、今回は道德で、自分が今後、社会人としてどういうふうな人になっていこうかなというのを考えるのにもとてもいい本だなと思っています。

委員長 ありがとうございます。では、川崎委員、お願いいたします。

川崎委員 私も道徳です。11番目、三省堂の「こどもきせつのぎょうじ絵じてん第2版」についてお話しします。この本は、既に生活・地図・社会でも採択されています。今回、道徳での採択希望が出されています。こちらもおールカラーの楽しいイラストが使われておりまして、題材は日本の四季の行事について、例えば今であれば七夕のようなものですが、楽しく学ぶことができます。日本の文化とか風習について知る、とても大切な勉強ができると思いますので、道徳の資料にふさわしいと思いました。

委員長 ありがとうございます。三省堂「こどもきせつのぎょうじ絵じてん第2版」についてご意見をいただきました。では、志水委員、お願いいたします。

志水委員 道徳は大変難しい教科だと思うのですが、少し抽象的な表現で難しいところもあるのですが、そういった視点で、「よくみるよくきくよくする絵本 たべものとかからだ」、「ピーマン村の絵本たち おおきくなるっていうことは」の2冊についてお話をしたいと思います。

まず、「よくみるよくきくよくする絵本 たべものとかからだ」についてですが、とても柔らかいタッチの動物や食べ物のイラストが豊富で、読み聞かせの教材としても、視覚的に理解しやすいつくりになっていました。「特別の教科 道徳」の内容としては、自分自身に関して、自分でできることは自分でやって、健康や安全に気をつけて生活するということがあったり、それから社会との関わりに関しては、命が多くの命のつな

がりの中にあるかけがえのないものであることを理解したりするということがあります。この本の中で、自動車の食べ物はガソリン、植物の食べ物は水などと分かりやすい例から食べることについての話が始まって、排せつについては、公共のマナーやトイレの入り方も紹介されています。ただ、1972年初版という本ですので、途中、生活様式などについては、現状に合わせて言葉を足すことも必要かと思えますけれども、幅広い道徳の内容を理解しやすく活用できる本だと思いました。

もう1冊の「ピーマン村の絵本たち おおきくなるっていうことは」という本です。自分の成長を実感するとか喜びを実感するというのはなかなか難しいことだと思います。この本では、最初に洋服が小さくなるとか、新しい歯が生えてくるというような具体的で目に見える成長について語りかけるような文章で始まります。そして、だんだんに目に見えないこと、例えば高いところから飛び降りられるのも成長だけれども、そこには安全について判断できるようになっていることが大切なのだよというふうに、目に見えないけれども大きくなるってどういうことかなと考えたり、発見したりできる構成になっています。特別支援学級、特別支援学校の児童生徒と一緒に読んだ後に、大きくなるってどういうことかなと話し合ったり、具体的な学校行事や生活の中の場面をとらえて、もう一度読み直して、考え直したりといったように、児童生徒の発達段階に合わせた扱いができる適切な1冊だと思いました。

委員長

ありがとうございます。婦人之友出版の「よくみるよくきくよくする絵本 たべものとかからだ」、そして、童心社の「ピーマン村の絵本たち おおきくなるっていうことは」の2冊についてご意見をいただきました。では、秦野委員、お願いいたします。

川崎委員 5 番の学研「はっけんずかんのりもの 改訂版」です。これは先ほど国語のところでは私が紹介させていただきましたが、今回の本の中で唯一かと思えますけれども、道徳と国語の2種目で希望が出されています。先ほども申し上げましたけれども、働く乗り物ということで、キャリア教育の入り口として、あるいは生活をどうつくっていくとか、そういったことについて考えるきっかけとなりますので、道徳の教科書としてもすばらしいと思います。

委員長 ありがとうございます。学研の「はっけんずかんのりもの 改訂版」についてご意見をいただきました。他にはいかがでしょうか。では、小木曾委員、お願いいたします。

小木曾委員 特別支援学級に在籍している児童が交流級で学習するということは、その子たちにとってすごく大きな楽しみの一つでもあります。高学年になってくると、だんだん周りの友達も意識するようになるので、交流級では、教科だけの勉強ということではなくて、自分のことや友達のことを知るという大事な学習にもつながるものであると思っています。

そういった意味で、旺文社から出されている「学校では教えてくれない大切なこと4 ステキになりたい」という本なのです。同年代の子どもがどのようなことを意識して生活しているのかを漫画で楽しく説明しています。様々な場面での交流及び共同学習ですとか、日常の生活を進めていくときには、自分の身の振る舞いやエチケットなど、友達と関わる際の参考になる本だろうなと思っています。

もう1冊は、国土社から出されています「ルールとマナーを学ぶ子ども生活図鑑(2) 学校生活編」についてです。先ほども申しましたが、自分は以前、特別支援学級の小学校で担任をしておりましたけれども、その経験でお話をさせていただく

と、小学校入学後は、これまでの生活環境とはすごく大きく変わるので、多くの子どもたちは非常に戸惑いを見せています。当然、保護者の皆様の不安も大きなものがあるというふうに感じていました。この本は、朝おうちを出て、学校で生活をして、家に帰るまでのその時々のルールやマナーを分かりやすい絵で説明しています。交通ルールであるとか、休み時間、給食時間についても触れられていて、言葉で伝えたとしても十分理解ができなかったり、ルールを忘れてしまいがちになったりする児童にとっては、その都度、この本の絵を見て確認できるので大変効果的な本であると思います。ただ、ちょっと気になることとして、価格が今回希望があった一般図書の中で一番高い3,000円というところですが、しかし、この内容を見てみると、特別支援学級の幅広い児童に対して、身につけなければならないマナーとかルールが明確で、さらに分かりやすく示されていることを考えると、この本を教科用図書として使用していくことがいいと思います。

委員長 ありがとうございます。道徳1の旺文社、そして、道徳2の国土社、それぞれについてご意見をいただきました。他にはいかがでしょうか。それでは、川崎委員、お願いいたします。

川崎委員 私は、道徳で、6番、7番、8番、3冊とも偕成社から出されているものですが、こちらについてお話ししたいと思います。

 ただいま小木曾委員からマナーを学ぶ本の紹介がありましたけれども、6番の「子どもの生活（3）マナーをきちんとおぼえよう！」という本です。こちらは既に生活・地図・社会でも採択されておりますけれども、タイトルにありますように、マナーについて学ぶ本になっています。トイレとか食事等、具体的な場面を想定して、こういうときにはこういう声かけをし

ようとか、ルール、マナーを守ろうとかということがイラストとともに紹介されていて、とてもいいなと思いました。

同じく7番の「子どものマナー図鑑(4) おつきあいのマナー」は、社会の中の様々な付き合い方、付き合う場面、友達付き合いであるとか、先生であるとか、おうちの方であるとか、そういった場面で気をつけるようなことを紹介しています。そういうことで、道徳の教科書としてふさわしいと思いました。

もう1冊、8番の「五味太郎・言葉図鑑(6) 暮らしのことば」です。こちらにも既に生活等で採択されているものです。日常の様々な場面で使う挨拶とか、感動詞、接続詞、こういう言葉についてイラストを見ながら学べるという構成になっています。豊かな表現力を身につけて、人との関係を円滑につくっていくということで、道徳の資料にふさわしいと思いました。

委員長 ありがとうございます。道徳の6、7、8、それぞれ偕成社から出されている3冊についてご意見をいただきました。他にはいかがでしょうか。では、小木曾委員、お願いいたします。

小木曾委員 私からは、コクヨという会社から出されている「かおノート」という本です。この本は、52種類の顔に見立てた写真やイラストに、目とか鼻とか口などのシール、裏にシールがついていまして、それぺたぺた貼ってみたり、自分で実際に書き込んだりして顔を完成させる本です。シールを貼る位置を変えることで様々な表情を作ることができるようになっています。自分は、友達の気持ちを理解することが苦手な児童にとって、顔の表情で相手の気持ちを理解することが大変有効であるということ、担任をしているときにすごく学んでおります。この本を活用して、相手の気持ちを顔の表情で示してあげて、相互理解につなげるということができると、学級での毎日がより楽しくて、豊かなものになっていくのではないかと思います。ソ

ーシャルトレーニングとしてもすごく活用できる本だと思いました。

委員長 コクヨ「かおノート」についてご意見をいただきました。他にはいかがでしょうか。No.9、英語からNo.10、道徳の19冊についてはよろしいですか。

それでは、一般図書について、皆様のここまでのご意見を踏まえますと、子どもの実態や発達段階に応じて幅広く一般図書の採択が可能となるように、昨年度まで採択されている一般図書は、●の発行者による供給が困難となった図書を除いて引き続き使用できること、今回、審議を行った教科用図書として使用したいと考えている新規図書や複数種目で希望のある一般図書は、いずれも適切であるということによろしいでしょうか。

各委員 はい。

委員長 それでは、議案第1号「令和4年度使用特別支援学校及び小学校若しくは中学校の特別支援学級用教科用図書について」の審議はここまでとしたいと思います。

それでは、引き続き、議案第2号「令和4年度使用藤沢市教科用図書に関する審議結果の答申について」審議を行います。昨年の答申は、特別支援学校及び小学校若しくは中学校の特別支援学級用教科用図書に関する審議結果については、一般図書についての総括的な考えを答申として示し、会議録を添付資料としておりました。今回の答申をどのような形にするか、ご意見をお願いしたいと思います。それでは、中岡委員、お願いいたします。

中岡委員 昨年度の答申や会議録を拝見しましたが、それぞれの一般図書について、丁寧に審議された上で、それを踏まえて総括した

考えを答申としていました。今回も同様の形がよいと思います。

委員長 ありがとうございます。他にはいかがでしょうか。では、秦野委員、お願いいたします。

秦野委員 私も今の中岡委員の意見に賛成です。今日も、新規のもの、それから複数種目で申請のあったものについて、一般図書について多岐にわたる意見が出ましたが、先ほど委員長がまとめてくださったように、どの図書も適切であるという意見だったと思います。私も、今年度も、昨年度のように全体を総括したものを答申として、参考のために会議録を添付するという形がいいと考えます。

委員長 ありがとうございます。他にはいかがでしょうか。よろしいですか。

それでは、答申については、審議の内容を総括的にまとめたものと、そして、会議録については参考に添付するというご意見をいただきましたので、その方向でよろしいでしょうか。

各委員 はい。

委員長 それでは、答申については、本日、開催しました令和4年度使用特別支援学校及び小学校若しくは中学校の特別支援学級用教科用図書についての審議内容を、審議の結果として総括的にまとめ答申するとともに、資料として会議録を添付することといたします。

では、改めて、議案第2号「令和4年度使用藤沢市教科用図書に関する審議結果の答申について」確認いたします。審議の結果として、子どもの実態や発達段階に応じて幅広く一般図書の採択が可能となるように、昨年度まで採択されている一般図

書は、●の発行者による供給が困難となった図書を除いて引き続き使用できること、今回、審議を行った教科用図書として使用したいと考えている新規図書や複数種目で希望のある一般図書はいずれも適切であることと考える旨をまとめとし、答申としたいと考えます。いかがでしょうか。

各委員 結構です。

委員長 ありがとうございます。なお、会議録につきましては、添付資料とし、私と、署名委員の加藤委員で確認した後、答申するようになりたいと思いますが、いかがでしょうか。

各委員 はい。

委員長 ありがとうございます。他にご意見はございますでしょうか。よろしいですか。

各委員 なし。

委員長 それでは、議案第2号についての審議を終了いたします。
これで予定されていた議題に関する審議は終わりましたが、全体を通して皆様から何かご意見はありますでしょうか。

各委員 なし。

委員長 特によろしいですか。
それでは、事務局から何かございますでしょうか。

事務局 それでは、今後の予定について説明いたします。
事務局といたしましては、今後、本審議委員会の会議録を作

成いたしまして、審議委員長に確認いただきます。審議委員長におかれましては、ただいまの審議の結果を踏まえて答申を作成いただき、会議録を資料として添付し、署名委員に確認をしていただきます。その後、審議委員長から教育長への答申を行うこととなりますので、よろしくお願いいたします。

以上でございます。

委員長

ありがとうございます。

それでは、これもちまして全ての審議を終了いたしましたので、第2回令和4年度使用藤沢市教科用図書採択審議委員会を閉会といたします。本日はありがとうございました。